

MONITOUCH**『X1 シリーズ スタンダードモデル』販売開始のお知らせ**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より、モニタッチをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度、製造現場のスマート化を目的にエッジコンピュータとして開発されたモニタッチの新モデル『X1 シリーズ スタンダードモデル』（12.1 型ワイド/15.6 型ワイド）の販売を開始することをご案内申し上げます。

敬具

- 記 -

1. 発売機種

(1) X1 シリーズ本体

製品概要	型式	仕様
X1 シリーズ スタンダードモデル	X1121iSD	12.1 型ワイド、WXGA (1,280×800)、TFT カラー、DC 電源
	X1121iSRD	12.1 型ワイド、WXGA (1,280×800)、TFT カラー、DC 電源、無線 LAN・Bluetooth 搭載
	X1151iSD	15.6 型ワイド、FHD (1,920×1,080)、TFT カラー、DC 電源
	X1151iSRD	15.6 型ワイド、FHD (1,920×1,080)、TFT カラー、DC 電源、無線 LAN・Bluetooth 搭載

(2) 周辺アクセサリ

製品概要	型式	品名
画面作成ソフトウェア	V-SFT-6	モニタッチ作画ソフト Ver. 6
その他	X1-BT	X1 シリーズ交換用リチウム電池
	X1-SS	X1 シリーズ専用セキュリティソフト

※ X1 シリーズ対応バージョン：

2020年12月リリース予定の V-SFT Ver. 6.1.0.0 で対応いたします。

2. 発売時期

受注開始：2020年10月30日（金）

出荷開始：2020年12月21日（月）

※納期は弊社担当窓口にご確認願います。

4. 主な特長・コンセプト

(1) IT システムとの融合

製造現場の装置操作やモニタ等の HMI としての制御系用途に加え、OPC UA、MQTT 接続に対応し、FA 現場と上位の IT システムやクラウドの情報連携を実現します。

MES、ERP 等の IT システムと接続することにより、FA 現場と IT システムのゲートウェイとしてデータをハンドリングし、データの可視化と生産性の向上・生産管理の最適化に貢献します。

(2) 視認性・操作性向上

高速 CPU の搭載、高解像度液晶、PCAP（静電容量）タッチスイッチの採用により、視認性の向上と軽快な操作性を実現します。

ベクター方式のレンダリングエンジン搭載により、パーツの拡大/縮小を行っても画像品質を保持するベクター描画に対応。ディスプレイの解像度に依存しない美しく高品質な画面を作成できます。

(3) ユーザアプリの利活用

Windows 搭載により、製造現場で Windows アプリやユーザアプリを使用できます。アプリは HMI 画面のスイッチから簡単に起動でき、現場で思いのままにアプリを利活用できます。

エッジコンピューティングとして FA 現場と IT の中間でアプリを活用したデータ収集・加工・分析を行うことで、データを活用した製造現場のスマート化に貢献します。

(4) V シリーズの画面資産継承

V シリーズで作成された既存画面を X1 シリーズにコンバートして使用できるので、これまで作成した画面資産を無駄にすることなく X1 シリーズに継承できます。作画ソフトは従来の V-SFT Ver.6 をバージョンアップしてご利用いただけます。

モニタッチで培った豊富な通信ドライバを継承し、プログラミング不要で多種の機器と接続が可能です。

【従来品からのデータ変換】

従来の V シリーズの画面データを、V-SFT-6 で X1 シリーズにデータ変換が可能です。

制限事項等については、マニュアルに記載または別途資料を作成いたします。

以上